

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2019年10月

第66号

主な予定

探鳥会

10月15日(火)

9:00~12:00

中川 望

キノコ観察会

10月20日(日)

10:00~12:00

仮払い機講習会

10月27日(日)

10:00~12:00

スタンプラリー

11月24日(日)

9:30~15:30

日本造園学会関東 支部見学会

11月24日(日)

9月の活動報告

9月14日(土) 2019年度アドバイザー会議

東大福田先生、柏市公園緑政課に出席いただき、当園管理事務室内にて標記の会議を開催しました。日程の都合で、アドバイザーである先生のご出席は福田先生のみではありましたが、ズミエリアを中心に園内視察を含めての会議となり、貴重かつ具体的なアドバイスを頂戴することができ、非常に有意義な会議になりました。

当会議の結果の概要は以下のとおりです。

(日時) 2019年9月14日(土) 13:50~16:00

(場所) こんぶくろ池自然博物公園管理事務室

(先方) 東京大学大学院農学生命科学研究科 福田教授

柏市公園緑政課 加藤様・岡崎様

当NPO 岡本会長・森田・上田・藤原・橋本谷・山上・中川

(結果概要)

1. ズミの保全・再生プロジェクトの活動報告

- プロジェクト・リーダーの森田さんより①保全に係る整備活動状況、②再生に係る整備活動状況、③乾燥化対策、④ズミプロジェクトの今後の取り組み、についての報告が行われました。

2. ズミエリアを中心とする園内視察

- 森田さんの説明を受けつつ、園内視察が行われました。
- 光環境の改善への取り組み状況(タケ・ササ・常緑の低木等の刈取り、ズミ周り的高木・スギの伐採・枝払い等)、再生活動状況(結実・人工受粉等)、乾燥化対策への取り



園内視察中の福田先生と森田さん

組み状況（水位測定・ダムの構築等）、ズミ群生地の再生候補地域・地点、等の確認が行われました。

3. 園内視察後の福田先生よりのアドバイス

➤ 園内視察後、管理事務室に戻り、福田先生より以下のアドバイスをいただきました。

- ・ 光環境改善への取り組みは十分な成果をあげており、現時点ではこれ以上の伐採・枝払いは必要ない。市は予算も限られているので、台風15号の影響等で倒れそうになっている木から処分していけば良い。
- ・ 再生候補地の選定は妥当であり、日当たりも良いのでこれで良い。
- ・ 乾燥化対策として行ったダム構築は成果をあげている。
- ・ 苗木の植栽、移植については、しっかりと生育した（徒長でない）苗を植栽する。高さ60cm位の高い苗は、ツリフネソウ・エリアが良さそう。しっかりと生育するまでは、苗木の生育に応じて適宜大きい植木鉢に植え替えしていけば良い。



竹筒で作成した水位測定筒での測定の実演

4. その他

➤ 台風15号の影響で、倒木・傾斜木が発生。園内視察中に確認された10番路沿いのスギの傾斜木（3本）および浄化装置点検時に通る地金堀手前の倒木（1本）について、福田先生より公園緑政課に「予算上のこともあるが、危険だから伐採したほうが良い」とのアドバイスがありました。

➤ 同じく台風15号の影響で、旧ホテル横にあるクロツバラ（2本）も傾斜木になっていました。今後の修復方法について福田先生に伺ったところ「根はかなり傷んでいるが、まだ回復可能な状態。無理に直立させようとする、根が完全に切れてしまう可能性がある。現状のままかあるいは45度位まで持ち上げたところで固定しておくのが良い。また、根の養分吸収力が低下している。木全体に過度の負担がかからないようにするため、下向きになっている枝や葉を重点に切り取って負担を減らすようにすると良い」とのアドバイスをいただきました。

➤ 令和2年度柏市移管予定のコリドー樹林について。公園緑政課によれば「ここ1~2年のうちにコリドー樹林内に園路を設ける等の整備は行われない」とのことでした。また、整備する場合、散策路は1号近隣公園より狭くすべきとの要望が出されました。



ズミの結実・人工授粉状況の説明



台風15号の影響で、倒木・傾斜木が発生。上記は浄化装置近くの地金堀前の大木。

以上

こんぶくろカフェ

松田 和生

・・・自然の森で秋の七草を見つけてみませんか・・・

最近、華やかな草花に人気があるようで、花屋さんでもバラなどは特別扱いです。しかし、日本には古来親しまれてきた草花があり、特に秋の七草は秋の季節を感じさせるものとして、根強い人気があります。

さて、ご承知かと思いますが七草の始めとされる和歌が「令和」が生まれる母体となった万葉集にあります。

次に挙げる山上憶良の歌です。

その一

秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種（くさ）の花

（巻二 1537）

「秋の野に咲いている花を指を折って数えると次の七種類の花が美しい」

その二

萩の花尾花葛花瞿麦（なでしこ）の花 女郎花また藤袴 朝貌の花

（巻二 1538）

「萩の花、薄、葛の花、瞿麦、女郎花、藤袴、朝貌の花」

※朝貌は現在の朝顔ではなく、桔梗とされるも諸説あり。

この短歌にあるように、これらの花は千年以上前から秋の花として愛でられていたのですね。

自然の森で秋の七草をみつけてみませんか。



秋桔梗

10月理事会

2019年10月5日（土）10:00～13:40

出席理事：岡本、上田、北田、中川、藤原

審議検討事項

1. アドバイザー会議（9/14）結果報告（中川）
 - ・ 本通信1ページ目参照
2. 公園緑政課との打ち合わせ（9/19）結果報告（中川）
 - ・ 台風15号の影響による倒木などの処理は既に業者に手配済み
 - ・ 北側道路について、具体的な工事開始時期は未定。開発計画の変更はできないが、県が工事に入る予定となる段階で、柏市として具体的な対案を提出していく方針
 - ・ アドバイザー会議は公園緑政課が主催しているが、主催者としては先生方の日程調整も困難であり、相談したい事項が発生する都度、その事項の相談にふさわしい先生方をお招きして開催するという運営が効率的で良いと考えている
3. キノコ観察会(10/20)・スタンプラリー&ワークショップ(11/24)の準備状況の確認（北田）
 - ・ **キノコ観察会**：参加予定者38名
 - お断りした18名対象に観察会を実施可能か検討
 - ・ **スタンプラリー&ワークショップ**：
 - 役割分担：暫定案を作成し、会員に配信後最終調整（北田）
 - 各部会の打ち合わせ：10月20日（日）13:00～
 - チラシ作成：1,000部（北田）
4. 仮払い機勉強会について
 - ・ 10月27日（日）10時～12時 座学&実技（講師：北田）
5. NPO設立10周年にあたり、シンポジウム、10周年記念誌作成の可能性、規模、時期など今後検討
 - ・ シンポジウム：「地域の魅力ある街づくり」、「地域の環境の希少性」などについて講演等

- ・ 10周年記念誌：①歩み、②設立に関わった人々の文やエピソード、③この地の特徴（専門家）
 - ・ これまでにまとめられた年譜の整理（上田）
6. 今年度後半の里山活動計画について
- ・ 里山班、調査班など総会資料をもとに、各担当リーダーを中心に検討する
7. 他事例の現地視察について
- ・ NPO のイベントや活動日を除いて視察の日程を決めていただくよう、アジア航測に依頼（中川）
8. 浄化槽の清掃について
- ・ 浄化槽は底に泥が溜まる構造だが2年前に清掃をしたきりなので、時期を見て清掃を検討する。

編集後記

9月に関東地方を襲った台風15号で、千葉県は甚大な被害を受け、特に房総方面では放置山林の杉などがなぎ倒され、大規模停電が数週間にわたって続くという大災害となりました。千葉県下の多くの地域で一時的にも停電が発生したところが多かったですが、幸いにも柏市など東葛地域は大丈夫でした。

しかしながら、中川さんの報告にもあるように、こんぶくろ池でも数本の木が倒れた他、我々が大事にしてきたクロツバラが2本とも傾くというのはショッキングな出来事でした。

クロツバラは、千葉県レッドリストでは、2017年の改訂で、「個体数や生育地の減少が極めて著しい。」ということで、カテゴリーB（重要保護生物）からA（最重要保護生物）に変更されています。環境省のレッドリストでも、「千葉県で確認されているのは、柏市の湿地で稀に見られるのみ。」とされる珍しい植物です。



傾いたクロツバラ

福田先生によるとまだ回復可能な状態ということですので、皆でなんとか守っていきましょう。

また、放置林は倒れやすい古木があったり、若い木でも生育が悪く、森林が健康でないことがよくわかります。こんぶくろ池の森もなかなか手が入られません。間引きを行って光環境を整えるなど、一本一本の木を元気にするとともに、地面の草花や希少種の成長を促すことで、森全体を活性化させることに少しずつ取り組んでいきたいと思えます。

（萩原秀夫）